

FUJITSU Software

シンプリア ティーエフ リンダ

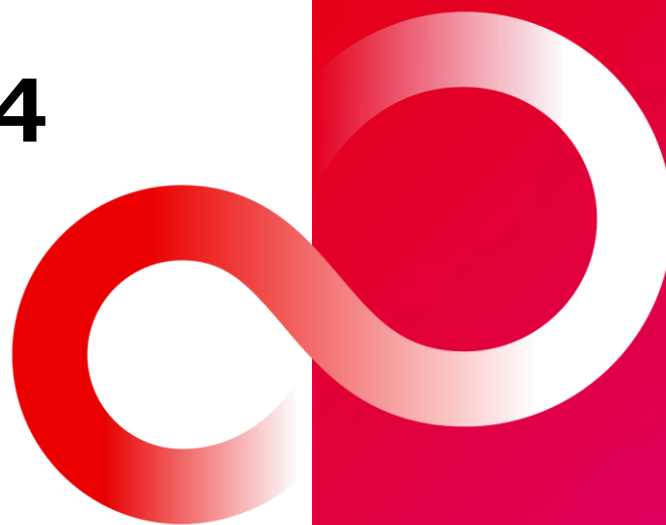
SIMPLIA TF-LINDA V24

ご紹介

(テストデータ作成・検証・更新支援ツール)

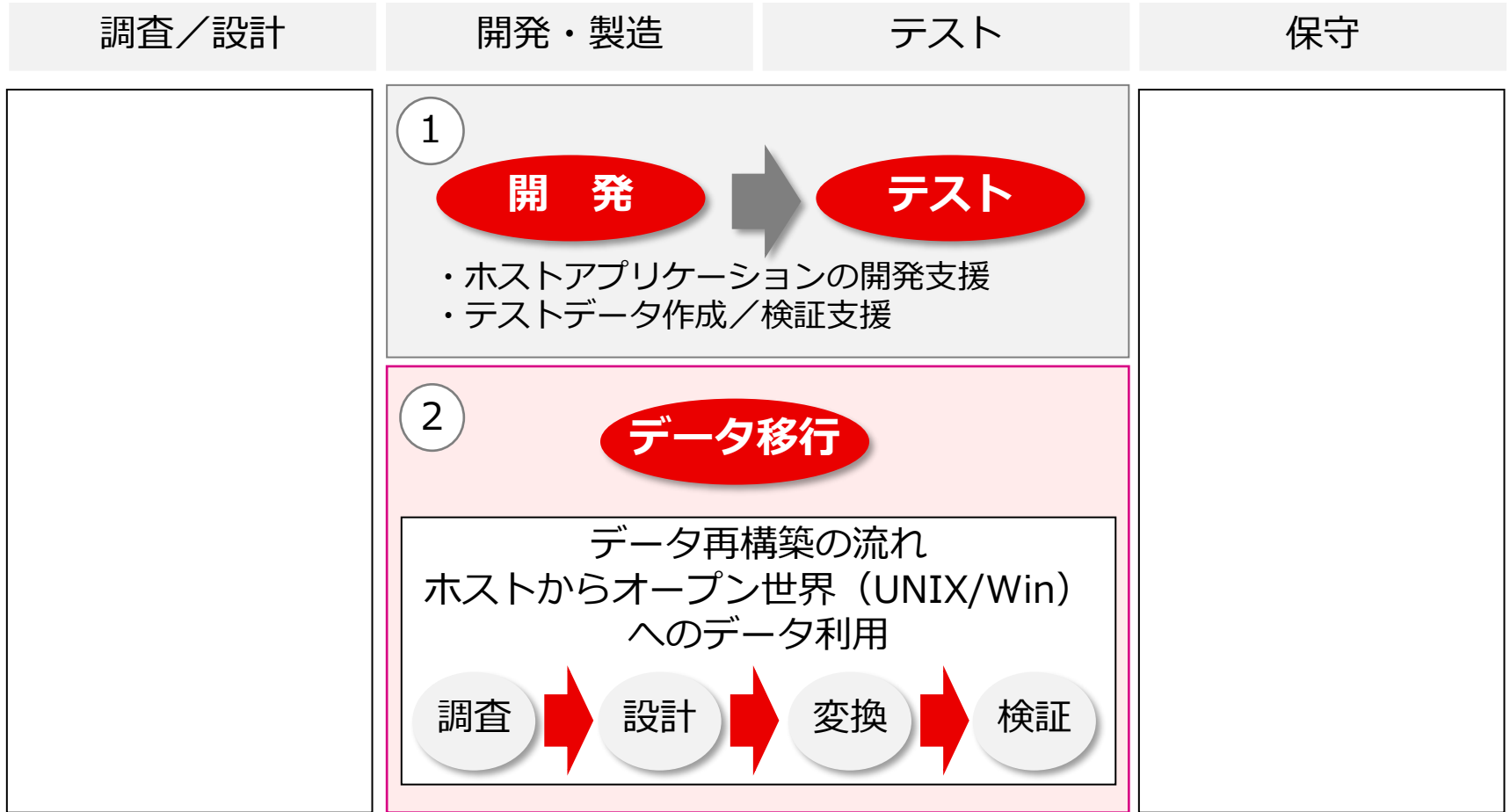
第4.5版

富士通株式会社



1. 製品の適用工程
2. 製品概要
3. 製品の機能
4. 導入効果
5. 特長
6. 機能概要
7. 画面、帳票例
8. 動作環境

● データ操作関連のSIMPLIA製品

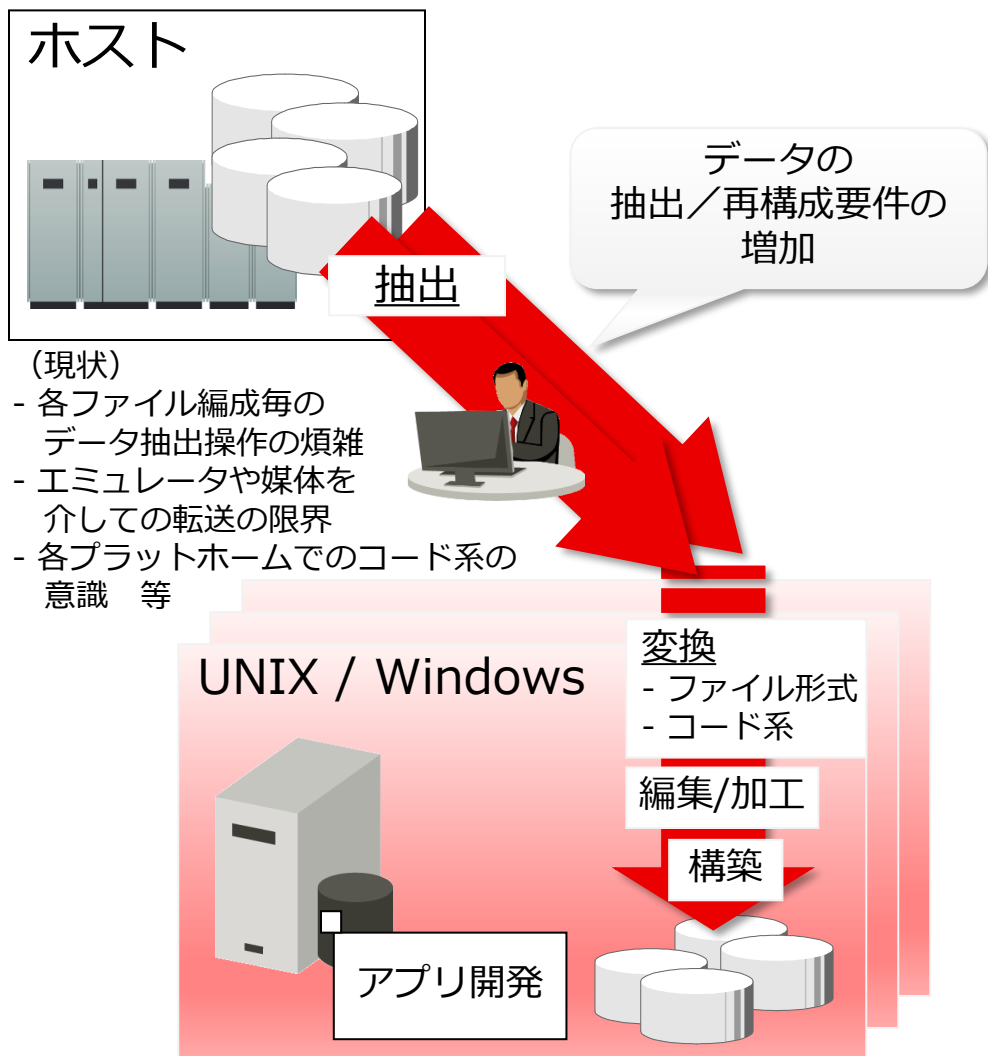


: V24L10以降の適用分野



: V23L10までの適用分野

● データ再構築の支援



システム構成形態の多様化

- ・ホストから他プラットフォームへのシステム移行
- ・ホストから一部業務の切出し
- ・オープンサーバ業務のAddOnなど



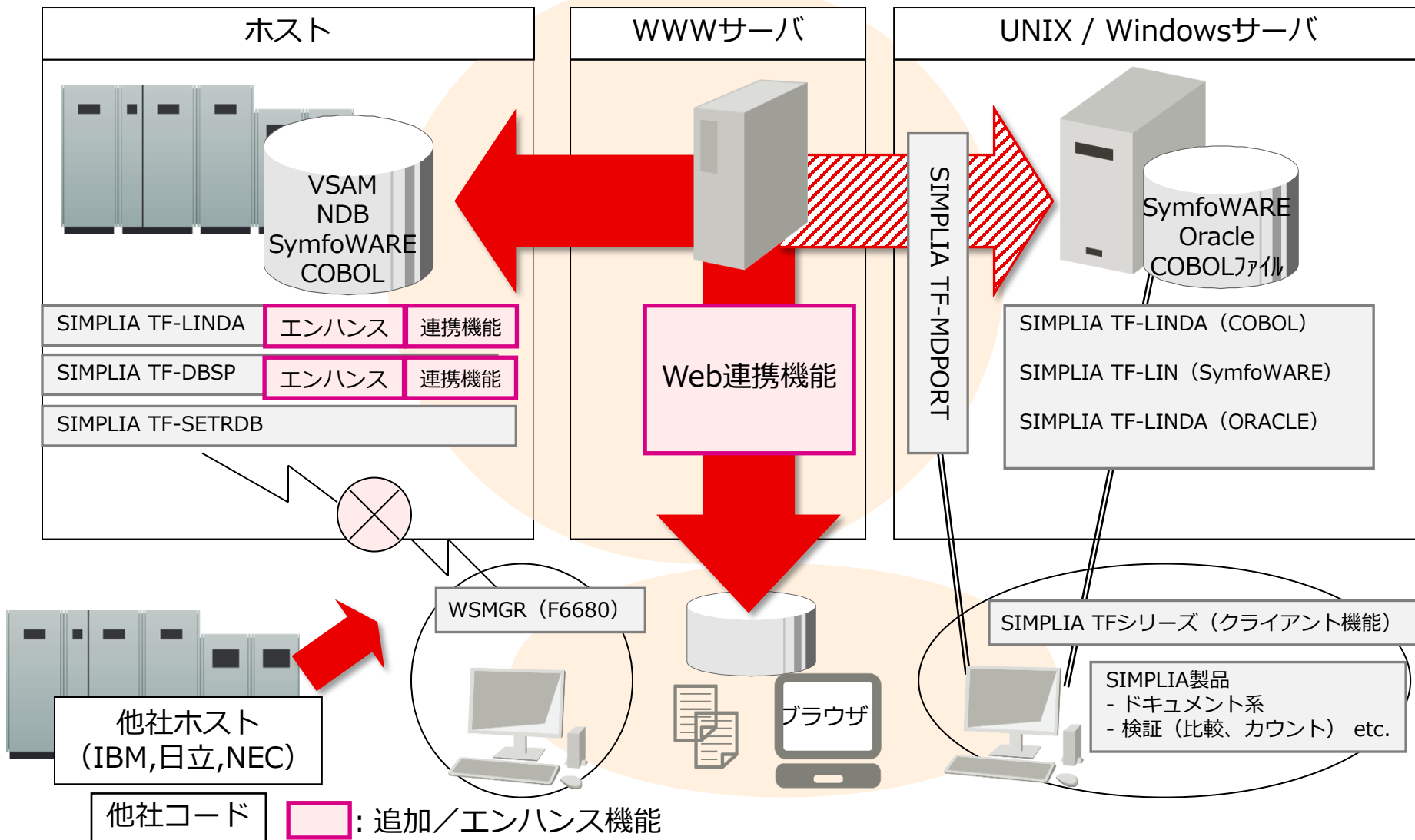
ホスト以外のプラットフォームでの業務アプリ開発

ホスト上のデータを抽出/移行して再利用

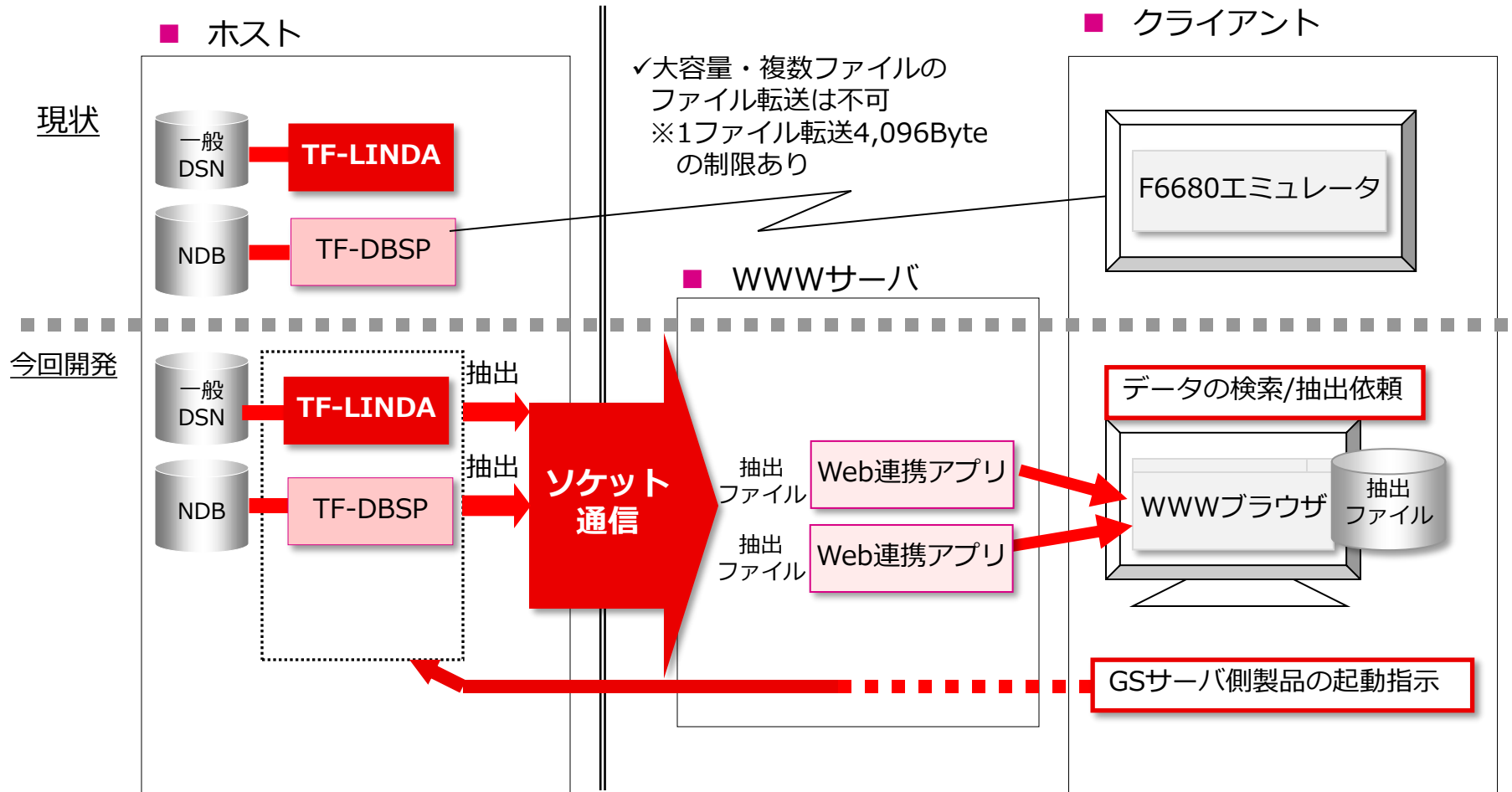


開発環境への簡単な導入/利用形態のデータ流用手順を実現！！

● 製品構成



● ソケット技術を利用した通信



本方式による ●導入コストの負荷が軽い。
メリット (新たな必須P.Pが必要ない)

●導入コストの負荷が軽い。
(OS標準機能P.Pにて実現)

●新たな導入・設定作業が必要ない

- TF-LINDAを使用することによりテストデータ作成・検証作業が効率化されます
 - エディタでは直接、更新・参照できないファイル編成もサポート
 - エディタでは見づらかった項目属性のデータを見やすく表示
 - コピー句フォーマットと対に表示・印刷されるため、更新後データの検証が容易
 - WWWブラウザでホストのデータを検索条件指定でき、データ内容表示やデータ抽出が可能
 - WWWブラウザのデータ表示では、従来の1画面／1レコード表示（レコード形式）と1画面／複数レコード表示（一覧形式）が可能
 - WWWブラウザでホストのデータ抽出が可能となり、簡単にデータの移行が行える。また、抽出されたデータをSIMPLIA TF-MDPORTと連携することでコード変換が可能

- 5-1. 簡易な操作方法
- 5-2. 見やすいデータ画面
- 5-3. レコードの選択が可能
- 5-4. 項目の選択が可能
- 5-5. データの再利用が可能
- 5-6. YSP構造体解析によるレイアウト表示が可能
- 5-7. データ転送機能
- 5-8. 更新ログ取得のためのユーザ出口機能
- 5-9. WWWブラウザからホストデータの操作が可能

5-1. 簡易な操作方法

メニュー画面による会話形式でデータセットの創成・更新・印刷・表示を行う

The screenshots illustrate the menu-driven workflow for data set management:

- Top Screenshot:** Shows the '順編成創成初画面' (Sequential Creation Initial Screen). It prompts for creation information such as volume number, space unit, and record length.
- Middle Screenshot:** Shows the 'データセット編成の選択画面' (Data Set Creation Selection Screen) with a list of options:
 - 1 順編成データセット
 - 2 索引順編成データセット (更新・印刷・検索表示処理のみ)
 - 3 V SAMデータセット (代替インデックス含む)
 - 4 相対編成データセット
 - 5 区分編成データセット
- Bottom Screenshot:** Shows the 'メニュー画面' (Menu Screen) with a list of functions:
 - 0 属性定義
 - 1 データセットの創成処理
 - 2 データセットの更新処理
 - 3 データセットの印刷処理
 - 4 データセットの検索表示処理
 - 5 ユーティリティ
 - X 終了It also displays system information like '装置名 ==> SYSDA' and 'ユーザーID ==> D23502'.

A red arrow points from the middle screenshot to a database icon labeled 'データベース' (Database).

5-2. 見やすいデータ画面

データ項目とデータ内容を対にした表示画面

F6680DSP - DSPEMU

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) ツール(T) ヘルプ(H)

-----< テ ス ト データ画面 >----- 00/02/04 14:01
 コマンド ==> _ レコード番号 => 000001

更新 - LINDA. OUTLIST. PS 編成 => PS

-LV-	アイテム名	属性	相番0	*-1	*-2	*-3
01	発注管理					
03	発管キー	X (00004)	0001	DS01		
03	発管年月日	9 (006)	0005	930616		
03	発管課名称	N (010)	0011	営業推進システ		
			0025	ム2課		
03	発管借上流用	(1)				
05	発管流入	(1, 1)				
07	発管流入件数	(1, 1)	9 (003)	0031	002	
07	発管流入工数	(1, 1)	9 (004) C	0034	0126	
07	発管流入金額	(1, 1)	S9 (004) C3	0036	0318	
05	発管流出	(1, 1)				
07	発管流出件数	(1, 1)	9 (003)	0055	099	
07	発管流出工数	(1, 1)	9 (004) C	0058	0666	
07	発管流出金額	(1, 1)	S9 (004) C3	0060	0735	
03	FILLER	X (00023)	0175			

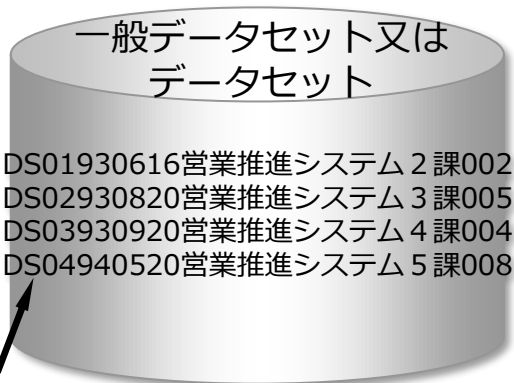
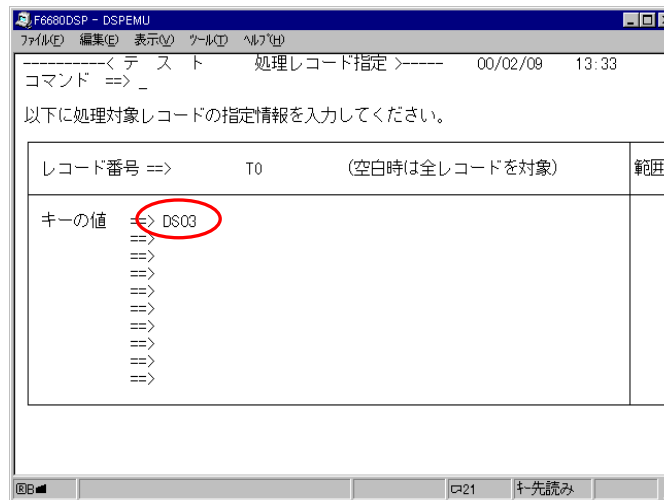
*** END OF DATA ***

⏪ 21 先読み

5-3. レコードの選択が可能

レコード番号, あるいはキー内容により特定

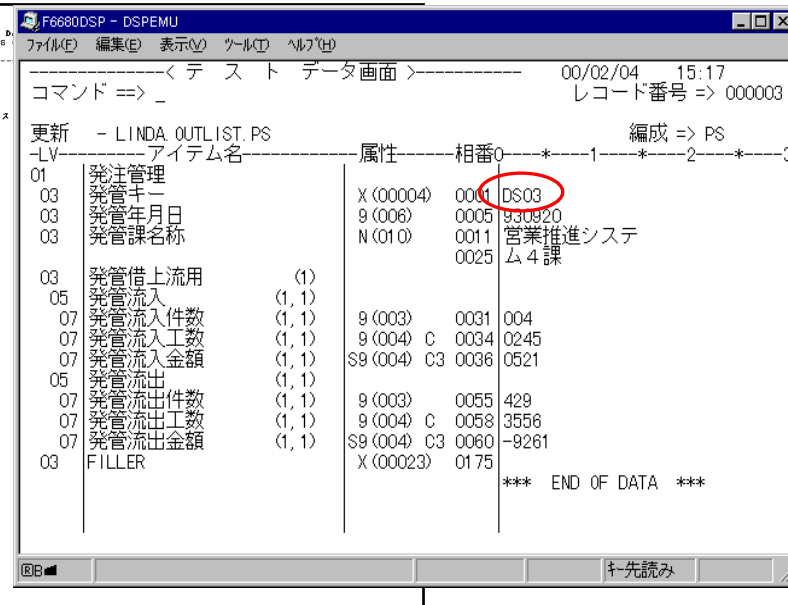
レコードの表示を行う



表示対象レコード

PRINT OSIV LINDA Y23/L10

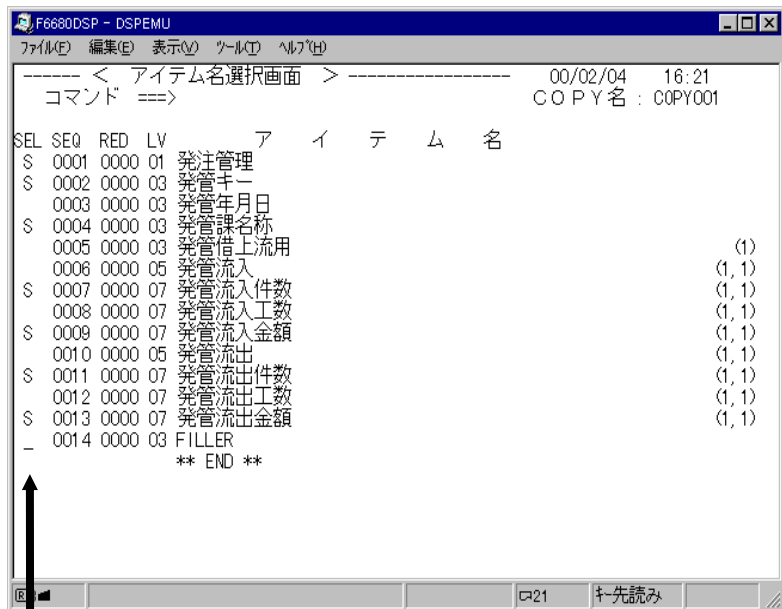
LEVEL	ITEM	NAME	ATTRIBUTE	ADDR	ADDR	OSIV	OSIV
01	発注管理		X(0004)	0001	0001		
03	発管年月日		9(006)	0005	930616		
03	発管課名称		N(010)	0011	営業推進シ		
03	発管借上流用	(1)		0031			
05	発管借入金	(1,1)		0031			
07	発管借入件数	(1,1)	9(003)	0047	002		
07	発管借入工数	(1,1)	9(004)	C 0034	0126		
07	発管借入金額	(1,1)	S9(004)	C3 0036	0318		
05	発管借入金	(1,2)		0059			
07	発管借入件数	(1,2)	9(003)	0059	008		
07	発管借入工数	(1,2)	9(004)	C 0062	0486		
07	発管借入金額	(1,2)	S9(004)	C3 0044	1285		
05	発管借入金	(1,2)		0047			
07	発管借入件数	(1,2)	9(003)	0047	010		
07	発管借入工数	(1,2)	9(004)	C 0050	0222		
07	発管借入金額	(1,2)	S9(004)	C3 0052	-1234		
05	発管借出	(1,1)		0055			
07	発管借出件数	(1,1)	9(003)	0055	099		
07	発管借出工数	(1,1)	9(004)	C 0058	0666		
07	発管借出金額	(1,1)	S9(004)	C3 0060	0735		
05	発管借出	(1,2)		0063			
07	発管借出件数	(1,2)	9(003)	0063	120		
07	発管借出工数	(1,2)	9(004)	C 0066	1503		
07	発管借出金額	(1,2)	S9(004)	C3 0068	1222		
05	発管借上流用	(1,2)		0071			
07	発管借上流用	(1,2)	9(003)	0071	006		
07	発管借上流用	(1,2)	9(004)	C 0074	0320		
07	発管借上流用	(1,2)	S9(004)	C3 0076	3000		
05	発管借上流用	(2)		0079			
05	発管借上流用	(2,1)		0079			



5-4. 項目の選択が可能

項目名を選択してレコード表示を行う

選択結果



選択記号



5-5. データの再利用が可能

- ファイルレイアウトが変わった場合でも既に作成したデータが再利用できる

変更前

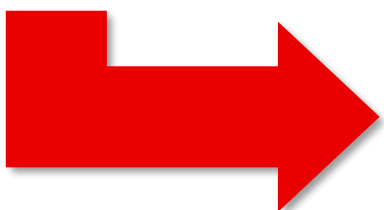
01	受注データ.
03	キー部.
05	顧客コード PIC 9 (04) .
03	都道府県コード PIC 9 (03) .
03	品名コード PIC X (05) .
03	数量 PIC 9 (03) .
:	

1レコード目	0010	045	K0001	010	AAAAAC	入力データセット編成 ・ 順編成 ・ 索引順編成 ・ VSAM ・ 相対編成 ・ 区分編成 (いずれも固定長レコードのみサポート)
2	0030	003	K0002	100	AABBCC	
3	0050	086	K0003	120	BBBBC	
4	0090	264	LM001	005		
5	1010	322	ST052	006		
6	1020	123	ST063	010		
:	3040	555	OT000	030		

TF-LINDA

変更後

01	受注データ.
03	キー部.
05	顧客コード PIC 9 (04) .
05	日付 PIC 9 (06) .
03	都道府県コード PIC 9 (03) .
03	品名コード PIC X (05) .
03	数量 PIC 9 (03) .
:	

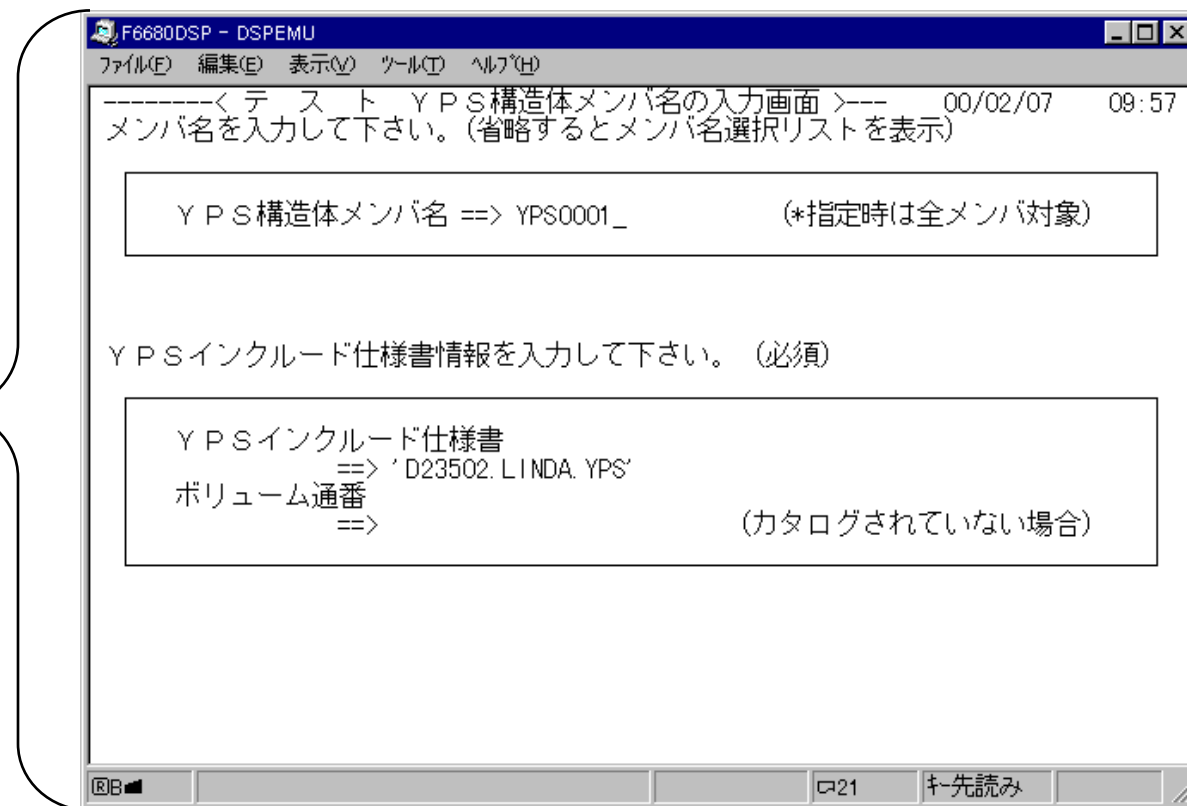


← 追加
新規に割り当て/創成する
(再配置)

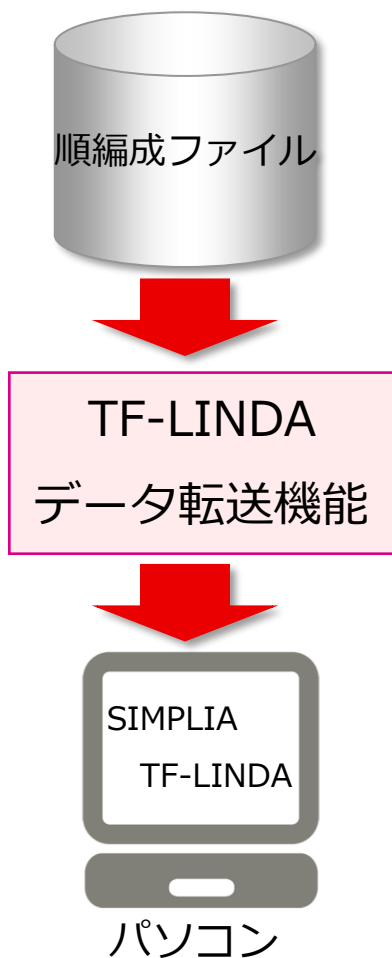
0010	000000	045	K0001	010	AAAAAC
0030	000000	003	K0002	100	AABBCC
0050	000000	086	K0003	120	BBBBC
0090	000000	264	LM001	005	
1010	000000	322	ST052	006	
1020	000000	123	ST063	010	
3040	000000	555	OT000	030	

初期化データがセットされる ←
出力データセット編成
・ 順編成

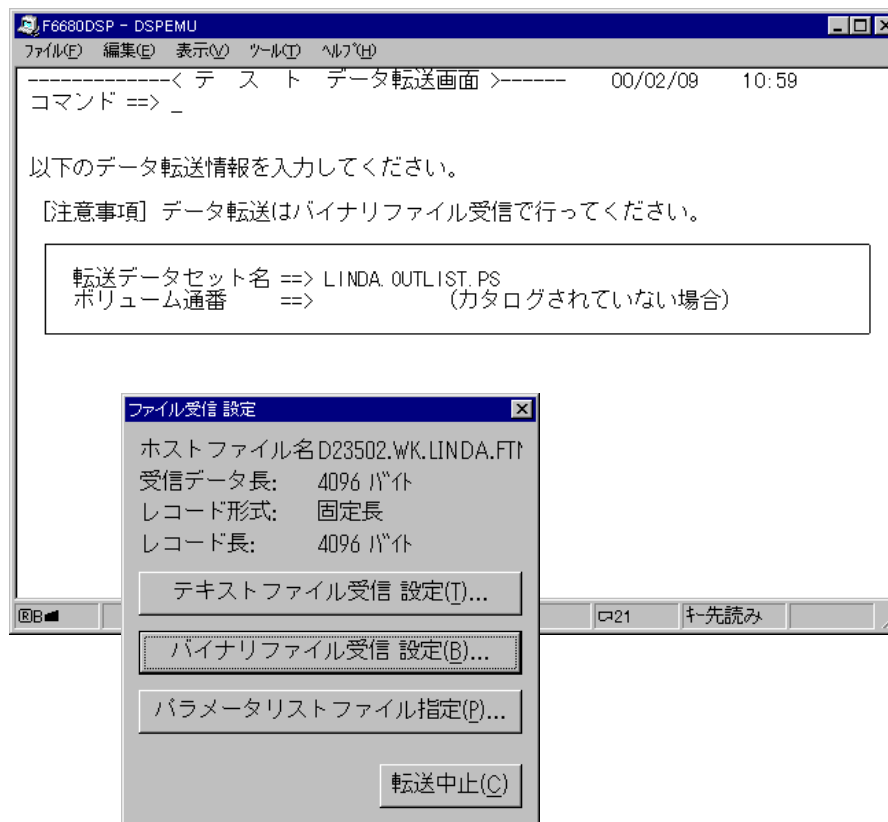
- 資産がYPS構造体でもCOBOLコピー句と同様にTF-LINDAを使用することが可能



- テストデータをパソコンへ転送し、Windows版 SIMPLIA TF-LINDAで操作可能です



固定長又は可変長順編成データセットのみサポート



V21L20以降

● データセット更新時のログ情報を利用者プログラムへ渡すことが可能

LV	アイテム名	属性	相番0	相番1	相番2	相番3
01	発注管理					
03	発注キー	X (00004)	0001	DS01		
03	発注年月日	9 (006)	0005	930616		
03	発注課名称	N (010)	0011	営業推進システム2課		
03	発注借上流用	(1)				
05	発注流入	(1,1)				
07	発注流入件数	(1,1)	9 (003)	0031	002	
07	発注流入工数	(1,1)	9 (004) C	0034	0126	
07	発注流入金額	(1,1)	S9 (004) C3	0036	0318	
05	発注流出	(1,1)				
07	発注流出件数	(1,1)	9 (003)	0055	069	
07	発注流出工数	(1,1)	9 (004) C	0058	0666	
07	発注流出金額	(1,1)	S9 (004) C3	0060	0735	
03	FILLER	X (00023)	0175			



データの更新

LV	アイテム名	属性	相番0	相番1	相番2	相番3
01	発注管理					
03	発注キー	X (00004)	0001	DS01		
03	発注年月日	9 (006)	0005	930616		
03	発注課名称	N (010)	0011	営業推進システム2課		
03	発注借上流用	(1)				
05	発注流入	(1,1)				
07	発注流入件数	(1,1)	9 (003)	0031	005	
07	発注流入工数	(1,1)	9 (004) C	0034	0426	
07	発注流入金額	(1,1)	S9 (004) C3	0036	1268	
05	発注流出	(1,1)				
07	発注流出件数	(1,1)	9 (003)	0055	052	
07	発注流出工数	(1,1)	9 (004) C	0058	0472	
07	発注流出金額	(1,1)	S9 (004) C3	0060	0412	
03	FILLER	X (00023)	0175			

ログ情報

利用者プログラムへ渡す主なログ情報

- 1) 処理モード
- 2) アクセス結果コード
- 3) アクセス時のキー値
- 4) ファイル名
- 5) ファイル編成
- 6) レコード長
- 7) レコードの内容

処理モード：読み込み
 アクセス結果コード：正常
 ファイル名：発注管理
 レコード長：198
 レコード内容：発管流入件数 = 002
 …

ユーザプログラム
 (LINDAEXT)

※ユーザプログラム名は固定です。

'LINDAEXT'

ログ情報

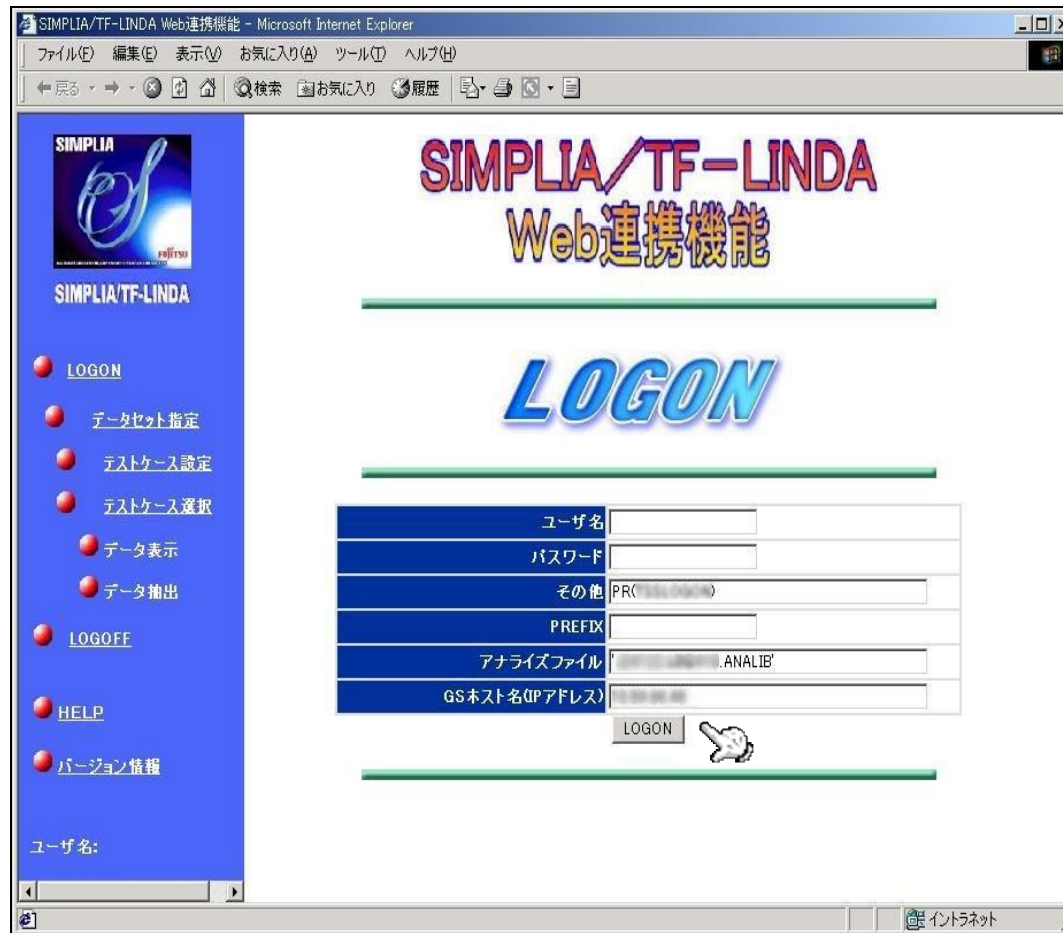
処理モード：更新
 アクセス結果コード：正常
 ファイル名：発注管理
 レコード長：198
 レコード内容：発管流入件数 = 005
 …

5-9. WWWブラウザからホストデータの操作が可能 FUJITSU

V24L10以降

WWWブラウザを起動してURLを入力

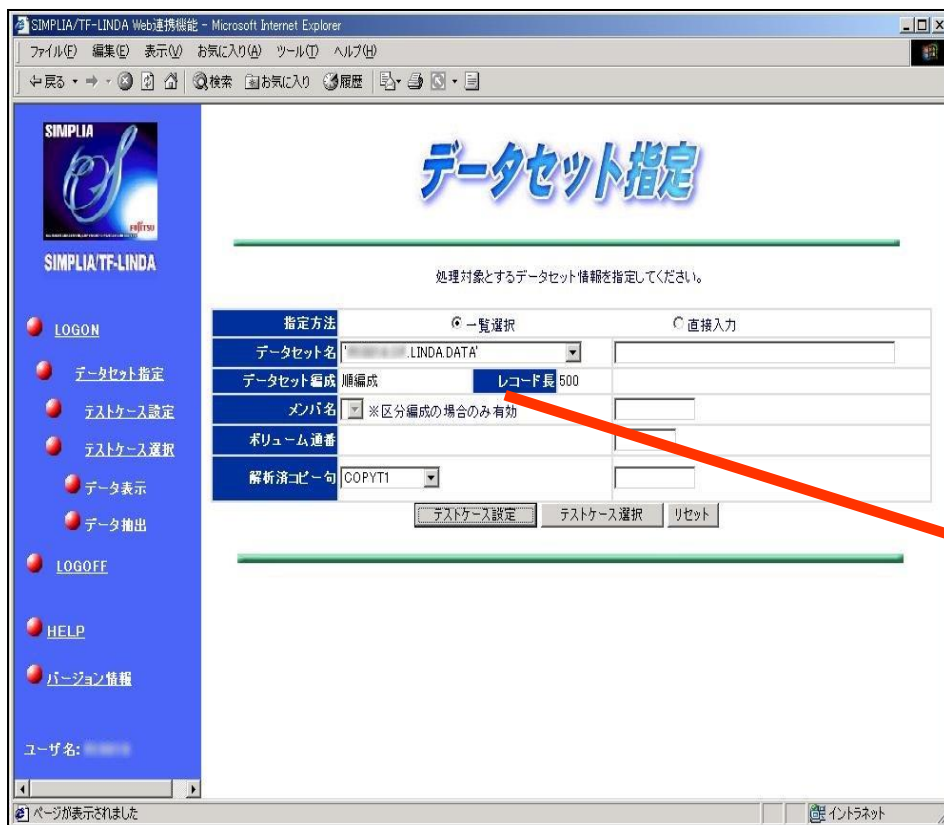
http://WWWサーバ名/LINDA/servlet/DWLinda



必要な情報を入力して
LOGONボタンをクリック

項目
ユーザ名
パスワード
その他
PREFIX
アナライズファイル
GSホスト名(IPアドレス)
LOGON

5-9-1. データセット指定



- 処理対象のデータセット名と解析済コピー句を選択または入力します。新たにデータの抽出条件を作成したい場合は本画面からテストケース設定画面への流れになります。



各画面の左側には画面遷移用のボタンとユーザ情報が表示



- テストケース（抽出条件式）の新規作成、更新、削除を行う
- 作成した抽出条件式によるデータ表示、データ抽出を行う画面遷移



- テストケース設定画面から遷移した場合
 1. 前画面で設定されたテストケース（抽出条件式）を初期表示し、抽出条件によるデータの表示、抽出を行う画面遷移
- データセット指定画面から遷移した場合
 1. テストケース指定なしで初期表示し、データの全件表示、抽出を行う画面遷移
 2. テストケースを選択すると、抽出条件によるデータの表示、抽出を行う画面遷移

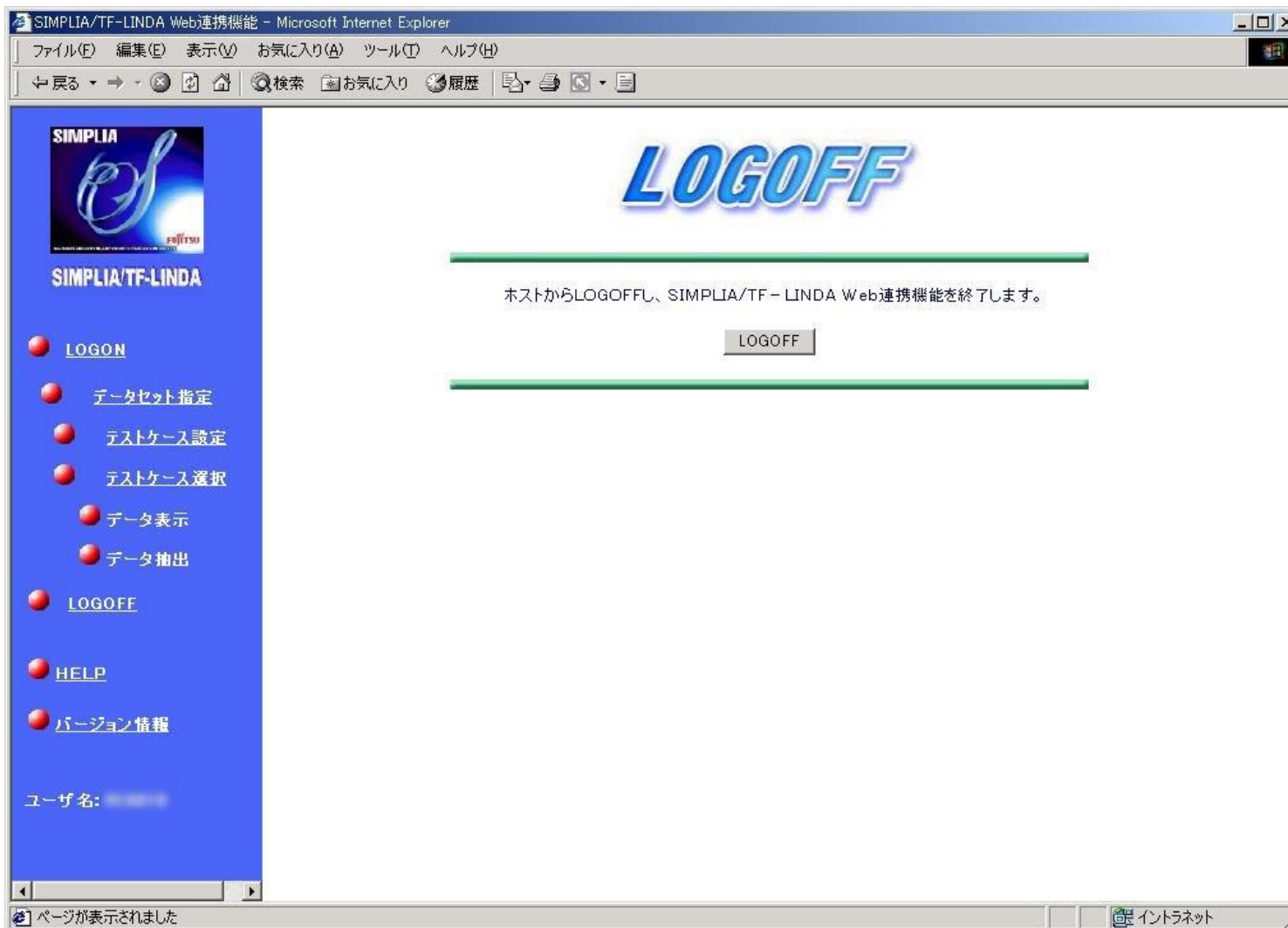


5-9-4. データ抽出



- データセットのデータをクライアントにダウンロード
- 解析済コピー句のレイアウト定義ファイルを作成





データセットの創成機能

データセットの更新機能

└レコードの更新・追加・削除

データセットの印刷機能

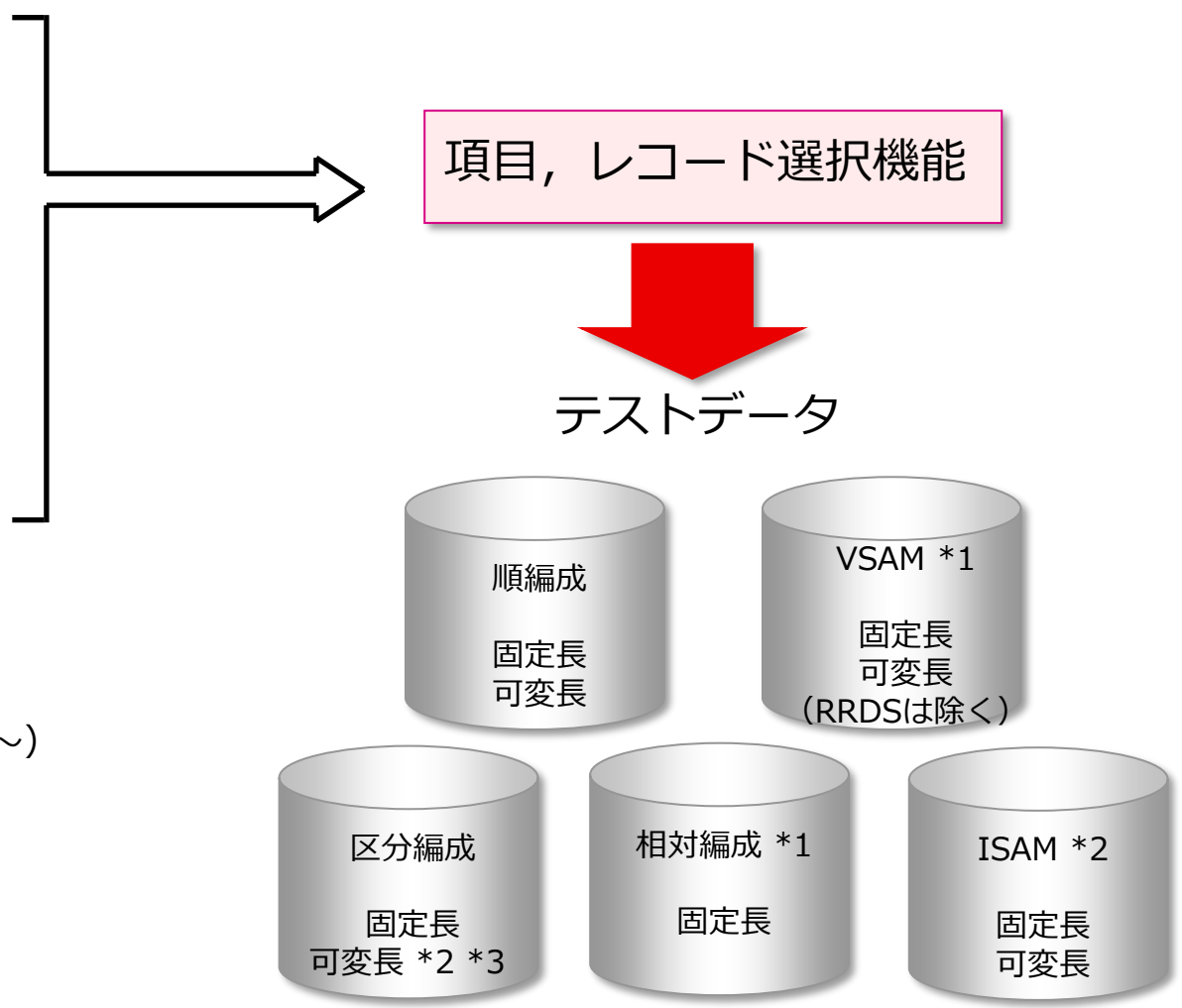
データセットの表示機能

ユーティリティ機能

- └データの再利用（再配置）
- └YPS構造体解析変換（V21L10～）
- └データ転送（V23L10～）

取扱えるデータ属性

- ・英数字
- ・外部10進
- ・内部10進
- ・2進
- ・ビット
- ・JEFコード
- ・KISコード（入力のみ）
- ・英字編集
- ・数字編集



*1 AIM配下データセットも使用可能
*2 創成機能はない
*3 V21L20以降で対応

7. 画面、帳票例 1/4

① 画面

F6680DSP - DSPEMU

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) ツール(T) ヘルプ(H)

-----< テ ス ト データ画面 >----- 00/02/04 14:01
 コマンド ==> _ レコード番号 => 000001

更新 - LINDA. OUTLIST. PS 編成 => PS

LV	アイテム名	属性	相番0	1	2	3
01	発注管理					
03	発管キー	X (00004)	0001	DS01		
03	発管年月日	9 (006)	0005	930616		
03	発管課名称	N (010)	0011	営業推進システ ム2課		
			0025			
03	発管借上流用	(1)				
05	発管流入	(1, 1)				
07	発管流入件数	(1, 1)	9 (003)	0031	002	
07	発管流入工数	(1, 1)	9 (004) C	0034	0126	
07	発管流入金額	(1, 1)	S9 (004) C3	0036	0318	
05	発管流出	(1, 1)				
07	発管流出件数	(1, 1)	9 (003)	0055	099	
07	発管流出工数	(1, 1)	9 (004) C	0058	0666	
07	発管流出金額	(1, 1)	S9 (004) C3	0060	0735	
03	FILLER	X (00023)	0175			
				***	END OF DATA	***

①B 21 キー先読み

レベル

項目名

OCCURSインデックス

データ内容

先頭からのバイト数

属性, 桁数

7. 画面、帳票例 2/4

② リスト

形式1：属性通り+16進形式（1レコード／ページ）

SIMPLIA/TF-LINDA		V23/L10	DATE 2000.09.19	PAGE 0001
PRINT - '023501.LINDA.OUTLIST.PS1'			DSORG ==> PS	TEST CASE ==>
MEMBER ==>				RECORD NO.==> 000001
LEVEL	ITEM NAME	ATTRIBUTE	ADDR 0-----1-----2-----3	0-----1-----2-----3
01	発注管理		0001	CEFF
03	発管キー	K(00004)	0001 0501	4201
03	発管年月日	9(006)	0005 930616	FFFFFF
03	発管課名称	N(010)	0011 営業推進システ	930616
			0025 ム2課	BCBCBESCABABAC
				1468F4FA575956
				A6ABBD
				50322D
03	発管債上流用	(1)	0031	
05	発管流入	(1,1)	0031	
07	発管流入件数	(1,1)	9(003)	0031 002
				FFF
07	発管流入工数	(1,1)	9(004) C	0034 0126
				002
07	発管流入金額	(1,1)	S9(004) C3	0036 0318
				07
				0E
				038
				01C
05	発管流入	(1,2)	0039	
07	発管流入件数	(1,2)	9(003)	0039 008
				FFF
07	発管流入工数	(1,2)	9(004) C	0042 0486
				008
				0E
				16
				025
				18C
05	発管流入	(1,3)	0047	
07	発管流入件数	(1,3)	9(003)	0047 010
				FFF
07	発管流入工数	(1,3)	9(004) C	0050 0222
				010
				0D
				0E
				024
				13D
05	発管流出	(1,1)	0055	
07	発管流出件数	(1,1)	9(003)	0055 099
				FFF
07	発管流出工数	(1,1)	9(004) C	0058 0666
				099
				09
				7A
				075
				03C
05	発管流出	(1,2)	0063	
07	発管流出件数	(1,2)	9(003)	0063 120
				FFF
07	発管流出工数	(1,2)	9(004) C	0066 1503
				120
				0D
				5F
				022
				12C
05	発管流出	(1,3)	0071	
07	発管流出件数	(1,3)	9(003)	0071 006
				FFF
07	発管流出工数	(1,3)	9(004) C	0074 0220
				006
				0D
				0C
				000
				30C
03	発管債上流用	(2)	0079	
05	発管流入	(2,1)	0079	

7. 画面、帳票例 3/4

形式 2 : 属性通り+次のレコード (2レコード/ページ)

SIMPLIA/TF-LINDA		V23/L10	DATE 2000.09.19	PAGE 0001
PRINT - '023501.LINDA.OUTLIST.P51'			DSORG ==> PS	TEST CASE ==>
MEMBER ==>			RECORD NO.==> 000001	RECORD NO.==> 000002
LEVEL	ITEM NAME	ATTRIBUTE	ADDR 0-----1-----2-----3	0-----1-----2-----3
01	注管理		0001	
03	管半年	X(00004)	0001	D501
03	管月	9(006)	0005	930616
03	管日	N(010)	0011	営業推進システ
			ム2課	ム3課
03	管流	(1)	0031	
05	管上	(1,1)	0031	
07	管入	9(003)	0031	002
07	管入	9(004) C	0034	0126
07	管入	S9(004) C3	0036	0318
05	管入	(1,2)	0039	
07	管入	9(003)	0039	008
07	管入	9(004) C	0042	0486
07	管入	S9(004) C3	0044	1285
05	管入	(1,3)	0047	
07	管入	9(003)	0047	010
07	管入	9(004) C	0050	0222
07	管入	S9(004) C3	0052	-1234
05	管出	(1,1)	0055	
07	管出	9(003)	0055	099
07	管出	9(004) C	0058	0666
07	管出	S9(004) C3	0060	0735
05	管出	(1,2)	0063	
07	管出	9(003)	0063	120
07	管出	9(004) C	0066	1503
07	管出	S9(004) C3	0068	1222
05	管出	(1,3)	0071	
07	管出	9(003)	0071	006
07	管出	9(004) C	0074	0220
07	管出	S9(004) C3	0076	3000
03	管借	(2)	0079	
05	管借	(2,1)	0079	
07	管借	9(003)	0079	000
07	管借	9(004) C	0082	0000
07	管借	S9(004) C3	0084	0000
05	管借	(2,2)	0087	
07	管借	9(003)	0087	000
07	管借	9(004) C	0090	0000
07	管借	S9(004) C3	0092	0000
05	管借	(2,3)	0095	
07	管借	9(003)	0095	000
07	管借	9(004) C	0098	0000
07	管借	S9(004) C3	0100	0000
05	管借	(2,1)	0103	
07	管借	9(003)	0103	000
07	管借	9(004) C	0106	0000
07	管借	S9(004) C3	0108	0000
05	管借	(2,2)	0111	
07	管借	9(003)	0111	000
07	管借	9(004) C	0114	0000
07	管借	S9(004) C3	0116	0000
05	管借	(2,3)	0119	
07	管借	9(003)	0119	000
07	管借	9(004) C	0122	0000
07	管借	S9(004) C3	0124	0000

必須ソフトウェア

【クライアント側】			
項番	ソフトウェア	バージョン・レベル	備考
1	Windows® 98	–	いずれかのOS環境を選択
2	Windows NT® Workstation	4.0 (注1)	
3	Windows NT® Server	4.0 (注1)	
4	Windows® 2000 Professional	(注2)	
5	Windows® 2000 Server	(注2)	
6	Windows® Millennium Edition	–	
7	Windows® XP Professional	–	
8	Windows® XP Home Edition	–	
9	Internet Explorer 5.5	SP2	いずれかのブラウザを選択
10	Internet Explorer 6.0		
11	SIMPLIA TF-MDPORT	V60L10以降	抽出データをコード変換して利用する場合に必要。

注1) Service Pack 6以上を適用してください。注2) Service Pack 2以上を適用してください。

【WWWサーバ側】			
項番	ソフトウェア	バージョン・レベル	備考
1	Windows NT® Server	4.0 (注1)	いずれかのOS環境を選択
2	Windows® 2000 Server	(注2)	
3	Tomcat	3.3.1	Servletコンテナ
4	Apache HTTP Server	1.3.26	WWWサーバ
5	JDK	1.4.0	Java開発キット

注1) Service Pack 6以上を適用してください。注2) Service Pack 2以上を適用してください。

【ホスト側】		バージョン・レベル			備考
項番	ソフトウェア	MSP	F4/MSP	XSP	
1	COBOL85	V12L20以降	V12L20以降	V12L20以降	Web連携機能を使用しない場合、V11L20以降で問題ありません。
2	IPF	V10L21以降	V10L21以降	V10L21以降	
3	ソートマージ	V10L30以降	V10L10以降	V11L10以降	
4	ADJUST	V10L50以降	V10L40以降	V11L10以降	日本語画面または日本語データを扱わない場合は不要
5	JEF基本辞書	V01L92以降	V01L91以降	V01L92以降	日本語画面または日本語データを扱わない場合は不要
6	GEM	V10L30以降	V10L20以降	V10L30以降	コピー句またはYPS構造体がGEMでない場合は不要
7	YPS/COBOL	V11L10以降	V11L10以降	V11L10以降	YPS構造体解析を行なわない場合は不要
8	AIM	V12L30以降	-	V20L10以降	
9	AIM/CP	-	V11L20以降	-	
10	PFD	V10L30以降	V10L10以降	V10L30以降	
11	TISP	V11L20	V11L20	V11L20	いずれかを選択 Web連携機能を使用しない場合は不要
		C95051以降	C95051以降	V95051以降	
12	TISP/BP	V10L10	V10L10	V10L10	Web連携機能を使用しない場合は不要

必要リージョン

2048KB以上

コピー句またはYPS構造体に関する制限事項

- ・ コピー句またはYPS構造体に文法上誤りがあってはならない。
- ・ 一度の処理に指定できるコピー句の数は最大10個まで。
- ・ 次のコピー句は使用できない。
 - レコード内の項目数が01レベルを含めて9999ステップを超える場合
 - 1コピー句内にOCCRS DEPENDING ON句が2つ以上ある場合
 - コピー句内にレベル番号77で記述してある項目がある場合
- ・ 次の句は使用していても、LINDAでは無視して処理する。
 - レベル番号を66, 88で記述している項目
 - USAGE句のうち、INDEX指定のもの
 - JUSTIFIED句
 - BLANK WHEN ZERO句
 - SIGN句
 - SEPARATE句
 - RENAME句
 - KEY IS句
 - VALUE句
- ・ コピーライブラリ、YPSインクルード仕様書は区分編成又はGEMライブラリでなければならない。
レコード形式は、コピーライブラリが固定長又は可変長、YPSインクルード仕様書が可変長のみサポートしている。
- ・ コピー句内に仮原文のあるものは、ユーティリティの“コピー句解析”を行ってからでないと、創成・更新・印刷・検索表示で扱えない。

運用上の注意事項

- ・ 項目選択機能を使用しないで印刷するとリストが大量に出力される。
- ・ レコード数が多い（数万レコード）と更新処理に時間がかかる（相対編成、VSAM以外）
- ・ LINDAで扱うことのできる固定長順編成データセット及び固定長区分編成データセットのレコード長は32752バイト、ブロック長は32752バイトである。
その他の編成については、データ管理の制限と同じである。
ただし、トラック長を超えるレコード長のデータセットは扱えない。

処理可能なデータセット

データセット編成		創成	更新	印刷	検索表示	備考	
順編成		○	○	○	○		
索引編成		×	○	○	○		
VSAM	KSDS	AIM配下※	×	○	○	○	
	ESDS	非AIM配下	○	○	○	○	
	RRDS	AIM配下※	×	○	○	○	可変長は処理不可
		非AIM配下	○	○	○	○	可変長は処理不可
相対編成	AIM配下※	×	○	○	○	可変長は処理不可	
	非AIM配下	○	○	○	○	可変長は処理不可	
区分編成		○	○	○	○	可変長はV21L20以降 更新・印刷・検索表示可	
		○	○	○	○		

※ AIM V12, V20配下で使用可能

～ お客様のご要望にお答えします ～



Q/Aサービス

製品の使い方や適用例について詳しく聞きたい

無償レベルアップサービス

レベルアップ版は無償で提供して欲しい

最新情報のご案内サービス

新製品情報、バージョン/レベルアップ情報を知りたい

トライアルユースサービス

導入検討中のSIMPLIA製品を試用したい

製品媒体再提供サービス

紛失・破損した製品媒体を再提供して欲しい

障害情報通知サービス

導入製品の障害情報を提供して欲しい

SIMPLIAに関する最新の情報は、下記URLの富士通サイト内検索から「SIMPLIA」で検索してください。

URL : <https://www.fujitsu.com/jp/>

Thank you

